

# 2021年 11月

## ～第89号～

『四大公害病の語り部講話を聴く集い  
～語り部による伝承会～』を開催しました

10月9日(土)13時30分より、資料館2階 交流学習ルームにおいて、『四大公害病の語り部講話を聴く集い～語り部による伝承会～』を会場とオンライン会議ツール zoom でハイブリッド開催し、合わせて約70名の方々にご参加いただきました。

コロナ禍の折、一昨年以来2年ぶりの開催となった今回の集いでは、水俣市立水俣病資料館、新潟県立環境と人間のふれあい館、四日市公害と環境未来館と主会場のイタイタイ病資料館をオンラインでつなぎ、各資料館の語り部の滝下昌文さん、水澤洋さん、谷田輝子さん、小松雅子さんにそれぞれの地域で発生した公害病について語っていただきました。

前半の語り部講話では、4人の語り部の方々それぞれに、公害病の恐ろしさや悲惨さ、患者本人や家族の経験されたご苦労、差別や偏見、また発生当時の社会的背景や地域の暮らしなどのお話しをされ、会場の参加者は熱心に聞き入っていました。



イタイタイ病資料館  
語り部 小松雅子さん  
(主会場)



水俣市立水俣病資料館  
語り部 滝下昌文さん  
(オンライン)

### ～語り部講話～

後半の意見交換会では、「オンライン講話による公害の語り部活動」をテーマに、講話いただいた4人の語り部と、イタイタイ病対策協議会の高木勲寛会長、当資料館の飯田館長が意見交換を行いました。



### ～意見交換会～

まず、4人の語り部の方々に、今回オンライン方式で開催された感想、また昨今のコロナ禍における日頃のオンライン方式での語り部活動において、姿の见えない聴き手にうまく伝えるための工夫や、感じておられることについて意見をお聞かせいただきました。オンライン方式の良い点としては、講話を遠方の方や多数の方にお聞きいただけること、悪い点としては語り部からは聴講者の表情が見えにくいため話にくいといったこと、そのためカメラの向きを配慮したり、画面に字幕を入れたりとより伝わりやすくする工夫を検討してはどうかといったご意見がありました。

その後、会場参加された当資料館の他の語り部の方からは、オンライン講話では伝わらない生の声の重要性を訴えるご意見もありました。

最後に、飯田館長から公害病の教訓を風化させないためにこのような催しを継続していくことの大切さ、また高木会長から、今後も公害病の悲劇を繰り返さないように伝えて行く責務があると総評いただきました。

機関誌『資料館だより 2021年秋号』を  
発行しました

このたび、資料館での出来事や活動状況、各種のお知らせ情報をお伝えする「資料館だより2021年秋号」を発行しました。

この資料館だよりは、年2回(春・秋)発行しており、資料館のホームページからもご覧いただけます。

「資料館ホームページ」

(URL : <https://www.pref.toyama.jp/1291/kurashi/kenkou/iryuu/1291/index.html>)